

梅雨空に長引くコロナ感染。もうすぐ夏休みですが、今年もいろいろ制限が多く、大人も子どももストレスがたまりがち。でも子どもは面白いことを見つける天才です。親子で思い出に残る楽しい夏を過ごしてくださいね。



こどもの新型コロナウイルス感染・ワクチン

新型コロナウイルスが世界中に広まり1年半が経ち、6月末時点で国内感染者総数約80万人、死亡15,000名近くとなりました。年齢別の感染者割合は10歳未満3.1%、10～19歳7.0%と小児では低く、小児の死亡例は報告されていません(2021.5月時点)。小児の感染は同居する家族からが77%を占め、感染予防には周囲の大人がウイルスを持ち込まないことが最も重要です。

4月からの第4波以降では変異ウイルスの割合が増加し、学校や保育施設などでも小規模ながら集団発生が散見されるようになり、3密回避・適切なマスク着用・手洗いなどの基本的な感染対策をまだまだ続ける必要があります。

小児が感染した場合、大多数は無症状から軽症で経過しますが、まれに重症化したり、**小児多系統炎症性症候群(MIS-C)**を続発することがあります。MIS-Cは、川崎病類似の症状と言われていましたが、若干異なるようです。コロナウイルス感染後2～6週後に発症し、発熱のほかに、消化器症状(腹痛・嘔吐・下痢)、発疹、心血管系症状(心筋機能障害・不整脈)、腎障害など多臓器の障害が起き、約半数にショック症状を伴うと報告されています。

コロナウイルス感染を抑える有力な手段がワクチンです。日本ではようやく医療従事者の2回接種がほぼ終わり、高齢者の約半数が1回接種、1/4が2回接種を終えたところ。そんな中、先日、担当大臣から「12歳以上の小児は夏休み中に接種していただくと…」との発言がありました。

実際には国からのワクチン供給状況が不確実で、守谷市でもすぐに小児への接種を始められる状況ではありません。いつ、どのような方法で小児への接種が始まるかは未定です。

12歳～15歳の適応が承認されたのはファイザー社製のm-RNAワクチンです。これまでの接種者からの情報では、接種部位の腫れや痛み・発熱・頭痛・倦怠感などの副反応は多く、1回目より2回目、高齢者より若年者でその頻度は高くなっていますが、これらの副反応は2-3日以内におさまります。つらい時は解熱鎮痛剤を使用可です。ワクチン接種後の死亡例が報告されていますが、ほとんどはワクチンとの因果関係が証明されていません。ワクチンを接種していなくても病気で亡くなることは当然あります。この辺をしっかりと認識し、ワクチン接種について考えていただけたらと思います。

成長痛って？

骨の成長に伴って一過性に起こる四肢の痛みと言われていますが、詳しい機序などは不明です。夜寝床に入ってから下肢(膝や下腿前面が多い)の激しい痛みを訴えて泣きますが、ほどなく寝入り、翌朝は何事もなかったかのように元気に歩いている、という症状が典型的です。決して跛行はみられません。夜に限らず起床時や日中休んでいる時にもみられますが、短時間で症状が消失します。

数か月から数年にわたって、時々このような症状を繰り返しますが、10歳頃までに自然に軽快します。痛がっている時はさすってあげるなどして様子を見てよいでしょう。

ただし、びっこを引いて歩く、痛みが長時間続く、熱を伴った四肢の痛み等は他の病気のことがありまますので、受診してください。

感染症流行状況

全国でRSウイルスが流行中。3-4歳以上になると「普通の風邪より咳が強い」位の症状のため検査をしないことが多く、実際にはかなり感染が広がっていると思われます。去年1年間RS感染がほとんどなかったため、免疫のない子が多く今年は大規模な流行になっているようです。特効薬はなく、対症療法で治ってくるのを待ちますが、呼吸が苦しそうな時やぐったりしている時は早めに受診してください。

感染症	人数(人)
溶連菌	4
アデノウイルス	1
RSウイルス	37
インフルエンザ	0

(2021.5.31～6.30)

今月の一冊

「ちんあなごのちんちんでんしゃ」

作：大塚健太

絵：くさかみなこ

ちんあなごたちの楽しい日常。

チンチン電車に乗ってのんびりと海の中を進んでいると、エイやダイオウイカ、いろいろな生き物が登場！

チンチン カタコト カタコト チン♪ ゆったりとした時間を過ごせる絵本です。(T.K.)



今月の予定

7月8日(木) 常総市乳児健診

15日(金) 守谷市3歳5か月児健診

* (火)(水)の10:30～11:00は成人の新型コロナワクチン接種を行っています。一般診療は一時中断しますがご了承ください。